

組合支援 ウォッチ

全日本自動車整備技能競技大会 で、福岡県チームが優勝しました!

平成27年10月10日(土)、東京ビッグサイトで開催された「第20回全日本自動車整備技能競技大会」には全国各地より53チーム106人の選手が参加、全体平均点778点と非常にハイレベルな争いを勝ち抜き、福岡県チームが1,000点満点まで残りわずか30点の970点という高得点で優勝しました。



選手名 (左より)

有限会社藤壺自動車工業

谷口 修平 (32)

西鉄エム・テック株式会社福岡工場

常岡 兼次 (27)

監督：福岡県自動車整備商工組合

富安 祐一郎 (30)

(敬称略)

この大会は、昭和52年に第1回大会を開催して以来、隔年で開催している大会です。自動車整備事業の第一線で活躍している自動車整備士の技能について権威ある適正な評価を行い、技能のより一層の向上を促すとともに職責に誇りと励みを与え、かつ、競技大会を通して整備事業の公共性と業界の教育訓練・技能練磨の姿勢を広く社会に示し、業界に対する正しい理解と認識を高め、以って業界の健全な発展と自動車の安全確保及び環境保全に寄与することを目的としています。

競技は、カーオーナーに扮した審査員への問診に始まり、競技車両の1年定期点検整備を実施しつつ、エンジン及びボディの故障部位各4カ所を発見し、納車説明するまでの技術力を、3競技合計90分間で行い、このアドバイザー競技、実車競技及び基礎作業競技の合計得点で競います。近年の特徴としては、自動車は高度化が進んだことで、スキャンツール(外部診断機)を使用しての故障診断が重要になっています。

—競技内容—

(1) 実車競技：

1年定期点検整備をベースにした点検整備(日常点検を含む)と故障整備(診断、探究、整備)の正確性を審査する競技

(2) 基礎作業競技：

単品部品に係わる基本的な測定技術及び測定結果に基づく診断等について審査する競技

(3) アドバイザー競技：

お客様への問診、応対、結果説明等について、アドバイザーとしての確な対応ができるかを審査する競技



競技車両「ホンダ・N-BOX」

—故障箇所—

《エンジン関係》

フューエルポンプリレー不良
カム角センサー配線断線
PCVホース穴あき
スロットルセンサーヒューズ切れ

《シャシ関係》

ハイマウントストップ球ソケット不良
エアコンモード切り替えスイッチコネクタ外れ
ポジション球色不適切
ワイパーゴム切れ



インタビュー

全日本自動車整備技能競技大会で優勝されたお二人のもとに、中央会職員が取材に行ってきました！



全国自動車整備技能競技大会で優勝された秘訣とは！？

「日頃の練習が活かされた」とお二人は語った。

仕事が終わった後に、整備振興会館まで通い夜遅くまで整備の練習をされていたとのこと。練習では前回出場時の経験も活かし、車を触るときや乗り込むときの注意、修理書をパソコンで確認、外部診断機で故障箇所を特定する等を重点に練習を行い、また、その他ありとあらゆる不具合を作って繰り返し何度も行い様々な点を注意し、練習されていたそうです。その努力が実を結び、本番は練習したものがほとんどで、見事、1000点満点中970点という高得点で総合優勝となったのです。

しかし、この大変な練習を、お二人とも「自分の勉強にもなるので、楽しかった」と語ったお姿を見ると、その整備への意気込みが何よりも優勝の秘訣だったと感じました。

整備士を目指したきっかけとやりがい

整備士を目指したきっかけについて、お二人とも、幼い時から工作関係が好きだったからだそうです。その後も、車やバイクがカッコいいという少年の憧れから機械いじりに興味が出て、高校を選ぶときは自動車科があるところを選び、お二人とも整備の道を歩み始めたそうです。高校生の時は、興味本位でエンジンを分解する等、機械や道具に対する思いが強くなり、その幼き頃からの「モノ」への蓄積された想いは、現在の姿勢に表れています。

谷口さんは整備のやりがいをこのように話されています。「自分の会社は、古い車を扱っています。新しい車は部品がありますが、古い車は部品がなく、現状の部品を再生させるということが重要になります。難しいですが、その整備がとてもやりがいを感じます」と。また、常岡さんも「自動車の点検を目標時間内で終わらせた時に整備のやりがいを感じます。丁寧にし、いい加減じゃなく確実にしていく。それが最も整備士として重要だと思います」と語っています。

また今後も、一級整備士や重機等幅広く整備出来る免許や資格を取得していきたいという目標もあり、整備への熱き思いに触れることが出来ました。

整備士が語る、点検・整備のアドバイス

日頃から実施している点検・整備が、安全走行のためにいかに重要か、具体的な事例を交えながら、読者に向けて、点検・整備のアドバイスを話していただきました。

「日頃の点検で気を付けて欲しいのは、エンジンオイルや冷却水・タイヤです。特にタイヤは、当たり前のことですが、人を乗せて走っているということを気にかけていないといけません。タイヤは、はがき一枚分くらい面積で車を支えています。空気圧が下がったまま走ると、燃費が悪くなるだけでなく、偏摩耗し、タイヤ、そして車の足回りも悪くしてしまいます。さらに、事故の原因にもなり、今からの冬の時期は注意しなければなりません。

空気圧が減ったまま走っている人を良く見かけます。燃料を給油した時に点検していただけられたらと思います。また、車を長持ちさせるためにも、エンジンオイルは5000kmで交換。冷却水を月に

一回でもいいから見てください。でも、何かおかしいな、と思ったら必ず整備工場プロに見てもらうことも重要です。お客さま自身が行う日常点検を習慣にすること。これらをきちんと実施することで、事故につながりかねない不具合箇所を発見したり、故障を未然に防いだりでき、安全性を確認できます。」

皆さん、お二人の整備士のお話はいかがでしたでしょうか。私達が無気なく乗っている車は、整備士の絶え間ない努力と、彼らを縁の下から支えている組合や組合員企業があってこそ安全に走ることが出来るのです。

あなたも、久しぶりにお近くの整備工場に行ってみませんか？



組合概要

組合名：福岡県自動車整備商工組合

代表理事：内山 邦彦

所在地：福岡市東区箱崎ふ頭6丁目7番16号

TEL：092-641-3171

FAX：092-641-3178